

2024.9.29.

地球冒険学校 ふれあいコンサート

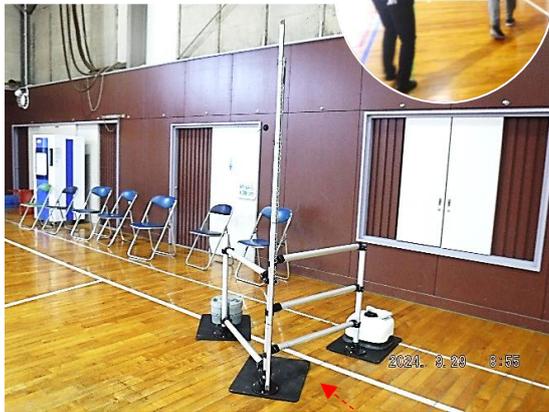


参加者：こども 26 名、保護者大人 30 名、障害者と家族 25 名、スタッフ 12 名、他 2 名
ストリング・アンサンブルの演奏とストリンググラフィ体験を楽しみました。



会場は八王子市立大和田小学校・体育館

朝 8 時 30 分～スリング・アンブル 4 名とスタッフ 5 名、参加者子ども 1 名が会場作り。スリングラフィの楽器・音響資材は 27 日に宅急便 3 個荷物で事務局自宅に届いたものを、当日運び込みました。設定は 3 時間かかりました。会場校の副校長先生が体育館放送設備の説明に朝から来てくださいました。



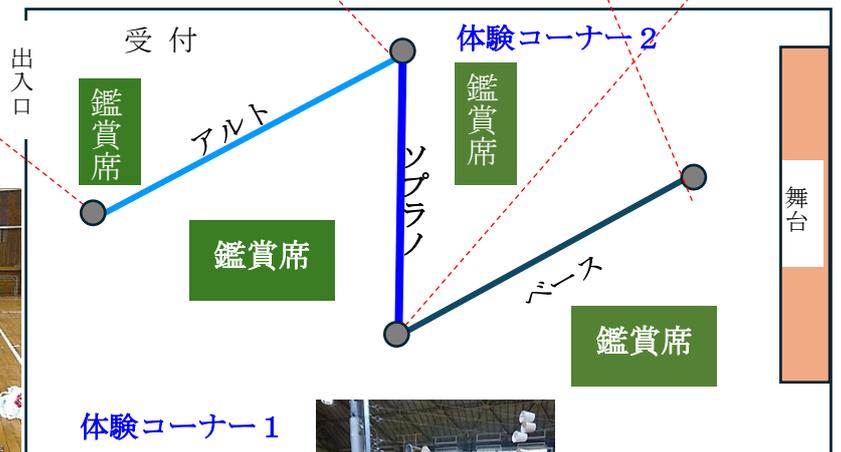
センターポール 2 本はバレーボールのネット用支柱につきました。

このポールの固定重しは 60kg

※体験コーナーは車いすの人も使えるように間隔を広くとりました。

体験コーナー 1

体験コーナー 2



スリングラフィの絹糸と紙コップは 15 年間使い続けて、良い音が出るように育てて来たものだそうです。金具と組み合わせて、ポールに固定し、絹糸には松脂を補充して塗り、音程測定器で音測りながら調整をしていました。

手袋をして絹糸を擦ることで音がでるのです。体験用に 40 組用意してくれました。絹糸には松脂が塗ってありました。

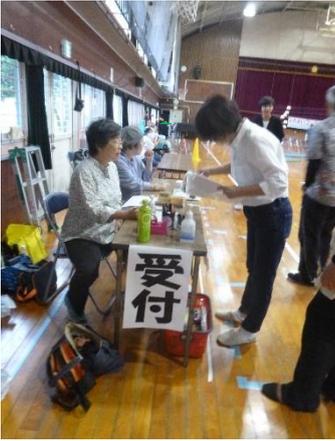
いすの下には音の調整用ミキサーです。



今回はプールサイド等外のトイレを使用します。



★13時にはスタッフ全員集合し、受付を準備し、4つに分けて鑑賞席（マットとパイプいす）を設営し、ストリンググラフィ体験の説明もうけました。



★13:30 受付開始 地域に暮らす障がい児者や子どもたちが次々集まって来ました。



★14:00 ふれあいコンサート開会のことば→中学生Kさんがストリング・アンソブルの紹介も行った。↓

プログラム① ♪小さな世界



プログラム② ♪春 ビバルディ四季より

プログラム③ 糸電話：絹糸だけではダメだけど、紙コップと組み合わせると音が伝わる実験に小低の子ども4人が参加



プログラム④ ♪大きな古時計

※チックタック時計の音もストリングラフィ



小低のお友だち
糸電話は初めて…



プログラム⑤ ♪クラリネットこわしちゃった



※会場校の校長先生、地域の児童劇場やチャイルドライン、町内会の方も鑑賞。独自にチラシを印刷し配った町内会もあったようです。障がいも世代も超えて地域共生社会を目指す活動が理解されて嬉しいです。

プログラム⑥ 3つの楽器の紹介：アルト、ソプラノ、ベース

♪ミッキーマウスマーチ ♪カノン ♪アイネクライネナハトムジーク



プログラム⑦ スtringグラフィは鳥のさえずり、カエルの声、虫の音 等…色々な音が出せるよ！！
 *四季のメドレー (春) ♪春の小川 ♪小鳥の歌→ (夏) ♪かえるの合唱→ (秋) ♪虫の声→
 (冬) ♪雪→ (春)

プログラム⑧ 体験コーナー

♡音を出してみよう！



3才幼児一人で音が出せたよ ♡



手袋で糸を挟んで擦ってみよう。

♡ ♪山の音楽家 の演奏に合わせて、鳥のさえずり音を出して下さい。

プログラム⑨ やってみたい人！



Yさんがアルトの一本の糸(弦)をこすり続けている間、アルト奏者は押さえる位置を変えながら糸をこすって、その糸一本で「♪きらきら星」を演奏した。

足が悪いYさんの移動はお友だちと協力者が援助した。⇒



プログラム⑩ 手拍子・身体を動かして ♪★Bling-Bang-Bang-Born



♪音楽に合わせて身体を動かす。いつでも当たり前を楽しみたいです♪



プログラム⑪ ♪ゲゲゲの鬼太郎
♪山寺の和尚さん ♪天国と地獄

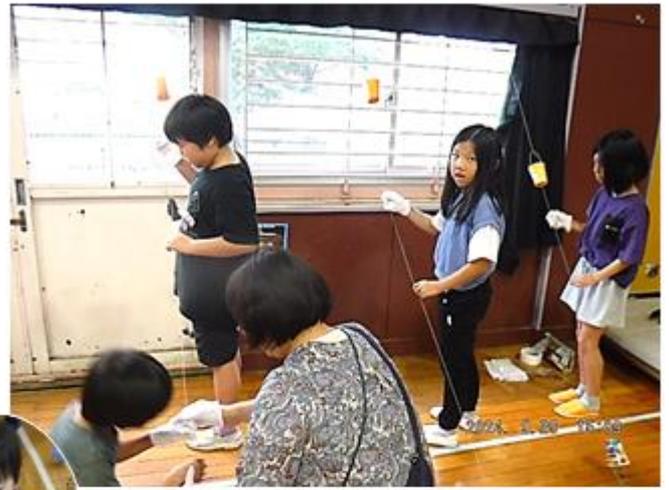


アンコールは ♪勇気 100%



最後に、「みんなもストリングラフィ（楽器）を作って、音楽を奏でてみてください！」と紙コップ・絹糸・松脂のセットと作り方、音階の作り方の説明書をご紹介します。インターネットでも詳しく調べられるそうです。

最後は、★体験コーナーです。レッツ、エンジョイ♡



体験コーナー



記念撮影は4つの鑑賞席毎に、ストリング・アンサンブル4名とご一緒に撮りました

★15:30 コンサート終了後、スタッフと一部参加者で会場体育館、トイレ等元通りに片付けた。



会場校の学校運営連絡協議会が、子どもたちからストリングラフィへ感謝の花束贈呈をした。



ストリングラフィは絹糸・紙コップ、設定金具、ポール等全て分解収納して宅急便荷物にまとめた。



★16:30 会場撤収